

ろくへの卒業アルバム
平成24年春

3月は巣立ちの季節

六戸町では1日から17日にかけて、小・中・高等学校で卒業証書授与式が行われ、295名の卒業生たち（小学校98名、中学校99名、高等学校98名）が思い出の学び舎から旅立ちました。
今、卒業証書を受け取った彼らは、たくさんさんの思い出や恩師・家族・地域の人々たちへの限らない感謝を胸に、夢と希望を携えて、輝く未来へ一歩を踏み出しました。



上／在校生や保護者に迎えられ、ちょっぴり緊張の入場
下／卒業証書を手し、そのまなざしは希望と感謝に満ちていた
(3月17日、開知小)



滞りなく進む式典の中、ともに歩んだ仲間たちとのさまざまな思い出が溢れだす
(3月17日、大曲小)



卒業生を代表し答辞を読み上げる林俊輝さん。六中の伝統は在校生へと受け継がれた(3月8日、六戸中)



校歌斉唱。こうしてみんなと歌う校歌もこれで最後。目頭が熱くなる。後ろに飾られているのは、六高創立30周年の記念製作

(3月1日、六戸高)

～ I can't control the length of your life.
But you control the width and depth. ～
(人生の長さを好きに延ばすことはできないが、人生の広さと深さは自分で広くも深くもできる!)



右／一緒に学んだ仲間たちは、楽しい時には共に笑い、辛い時には共に励まし支え合ったかけがえのない存在。とびきりの笑顔でハイタッチス

左／「中学校へ行っても頑張ってね」教え子を励まし送り出す
(3月17日 六戸小)



上／'先輩、ありがとうございました' 式を終え、在校生が卒業生と別れを惜しむ
下／ソフトテニス部の先輩へ。思いの詰まったメッセージボール
(3月8日、七百中)